

**富山県成長戦略
アクションプラン
(令和4年度版)**

令和4年2月
富山県

「富山県成長戦略アクションプラン（令和4年度版）」目次

1. 成長戦略の実現に向けて	2
(1) 真の幸せ（ウェルビーイング）戦略	
(2) まちづくり戦略	
(3) ブランディング戦略	
(4) 新産業戦略	
(5) スタートアップ支援戦略	
(6) 県庁オープン化戦略	
2. 今後の進め方	5
3. アクションプラン	6
(1) 真の幸せ（ウェルビーイング）戦略	
(2) まちづくり戦略	
(3) ブランディング戦略	
(4) 新産業戦略	
(5) スタートアップ支援戦略	
(6) 県庁オープン化戦略	

1. 成長戦略の実現に向けて

富山県成長戦略は新型コロナウイルス感染症による社会経済構造の変革や以前から進んでいたデジタル化・AI化の進展、脱炭素やSDGsといった世界的な潮流に対応していくために、「真の幸せ」（ウェルビーイング）中心の成長戦略としてとりまとめられました。

主観的な幸福度を重視した「真の幸せ」（ウェルビーイング）を目指すことが経済成長の目的であり、手段でもあるという考えのもと、新しい産業政策、新しい人材政策を目指しています。特に、富山の強みを最大限に活用し、弱みを克服することにより、富山のウェルビーイングの向上を図り、次世代の価値を産む人材が富山に育ち、また、県外から引き寄せられて富山に集積することを戦略の核に据えており、総合計画と共通して、「人づくり」をその基盤としています。

今回、富山県の新たな成長戦略として、「真の幸せ」（ウェルビーイング）に着目するのは、GDPに代わり、世界的に注目を集めつつある概念であることに加え、富山県が県民所得や住環境などの客観的指標の観点からみると、全国的にも暮らしやすい県の一つであり、今後、主観的な幸福度を高めていくことで、全国的にも高いウェルビーイングを達成しうる可能性が大きいことがあります。

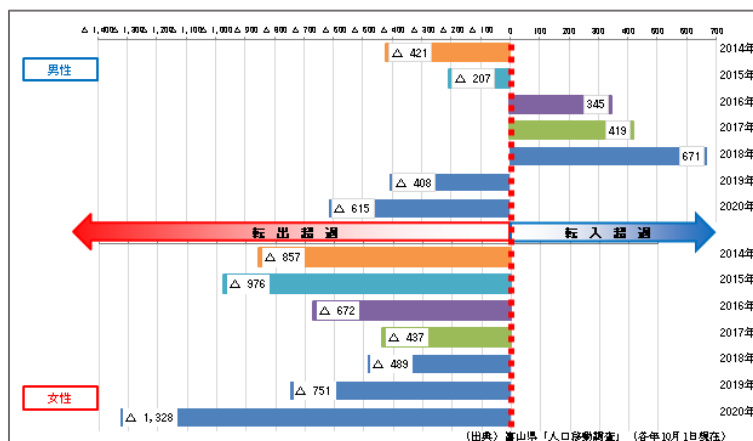
今回の富山県成長戦略アクションプランでは、6つの柱ごとに令和4年度予算に盛り込まれる事業をまとめています。それぞれの柱ごとの戦略の実現に向けて、各事業の相乗効果を高めていくことはもちろん、柱ごとの事業も相互に連携させていくことが重要です。

また、成長戦略は県が単独で行うのではなく、県民や市町村、民間企業や関係団体などと連携を図るとともに、それぞれの自主的な取り組みにもつながるよう、ワンチームとなって実行していくことが重要です。

(1) 真の幸せ（ウェルビーイング）戦略

真の幸せ（ウェルビーイング）戦略では、ウェルビーイングを中心とした成長戦略の実現に向けて、ウェルビーイングの認知度が低い現状が課題であることから、まずはウェルビーイングの普及啓発に取り組むとともに、県内のウェルビーイングの向上に向けた指標の設定等に向けた調査を行います。

一方で、若い年代の県外流出が止まらない状況であり、こうした若い年代、特に県外流出の大きい女性のウェルビーイングの向上に向けて、女性の働く環境や子育ての環境を改善します。また、こうした県内のウェルビーイングの向上の取り組みを県内外に発信し、人材交流や人材集積を活性化するため、富山県成長戦略カンファレンス開催事業をはじめ、情報発信の取り組みを強化するとともに、県内移住につながるワーケーションやテレワークの取り組みを強化します。



富山県 15～34歳の社会移動の状況（日本人+外国人）

(2) まちづくり戦略

まちづくり戦略は、真の幸せ（ウェルビーイング）戦略と合わせて、県内のウェルビーイングを高める個性的なまちづくりを目指すものです。居心地がよく個性的な市街地・田園地域づくりに向けて、ボトムアップのまちづくりを進めるために、多様な主体によるまちづくりの取組みを支援します。県内ではこうしたボトムアップのまちづくりの事例が増えつつあり、こうした取組みを広げていくことが重要です。

また、デジタル技術を様々な地域課題の解決に活用していくことも不可欠であり、県内外の事業者とも連携することで、より効果的なデジタル化を進めていきます。

加えて、まちづくりを進めていくためには、官民連携の深化が不可欠であり、PPP や県としては実績のないPFIをはじめとした官民連携に関する知識やネットワークを構築するための事業を実施します。

(3) ブランディング戦略

ブランディング戦略は、真の幸せ（ウェルビーイング）戦略により実現する高いウェルビーイングを富山県のイメージと結びつけ、国内外へと発信し、ブランド力の強化を目指すものです。

まずは、県民等による地元の魅力の再発見を促すとともに、富山とウェルビーイングのイメージをつなげるべく、富山の魅力を活かした観光コンテンツづくりやデジタル技術の活用への支援を行います。また、「暮らすように旅する」観光サービスの創出を目指して、女性の視点を活かし、知的好奇心が旺盛で本物志向、消費ポテンシャルが高い観光客への対応ができる人材の育成や観光サービスの事業化を行うほか、若者向けのSNSによる情報発信を行います。

富山県成長戦略では、県内人口が減少傾向にある中で、ウェルビーイングの向上と合わせて、関係人口1000万人を目指し、様々な人や事業者との連携を強化することで、新たな成長へとつなげていきます。そのため、ブランディング戦略では、関係人口1000万人の実現に向けて、リアルとオンラインの両面で様々な情報発信の強化を行います。その際、サーロインの法則（制作3、発信6、検証1）を重視し、コンテンツ制作に加え、発信とその評価を徹底します。

(4) 新産業戦略

新産業戦略は、真の幸せ（ウェルビーイング）戦略、まちづくり戦略、ブランディング戦略により進められた人材交流・人材集積を基礎として、新たな世界の潮流に合った富山県の産業構造を実現していく戦略です。

まず、第一に自立した経済圏の確立として、外貨を稼げる製造業が主要産業であることを活かし、県内の産業基盤を強化します。特に、カーボンニュートラルの取組みを進めつつ、県内での経済循環を活性化させ、域外への商圈拡大や域外から消費を呼び込むなど外貨を稼げる産業を育成します。具体的には、主要産業であるアルミ産業のグリーン化やIT企業等の企業誘致に取り組みます。

第二に、近県や近隣諸国等との連携の強化も目指し、伏木富山港や富山きときと空港をはじめとした広域交通インフラの整備や経済交流を進めます。

＜IoT導入にあたっての課題＞

①現場層の理解 54.4% ②IoT人材の確保・育成 50.9% ③自社の課題把握・抽出 42.1%

富山県IoT推進コンソーシアムアンケート（R3.9）より

第三に、県内企業のDXや高付加価値化に対する支援を行います。特にDXについては、事業者の支援ニーズも高いため、令和3年度に立ち上げたDX・働き方改革推進本部とも連携して行います。DXを進める中で、デジタル化はもちろん、その前提となる新しい組織の在り方や新たな製品・サービスの開発において、デザイン思考やクリエイティブなアイデアを活用し、新たな製品・サービス、企業、市場の創出を進めます。

第四に、豊かな水や自然を背景とした環境先進県であることを活かし、カーボンニュートラルを踏まえた産学官連携を強化します。これについては、令和4年度に策定予定の「富山県カーボンニュートラル戦略」とも連携します。また、SDGsについても、県内企業の取組みを掘り起こします。

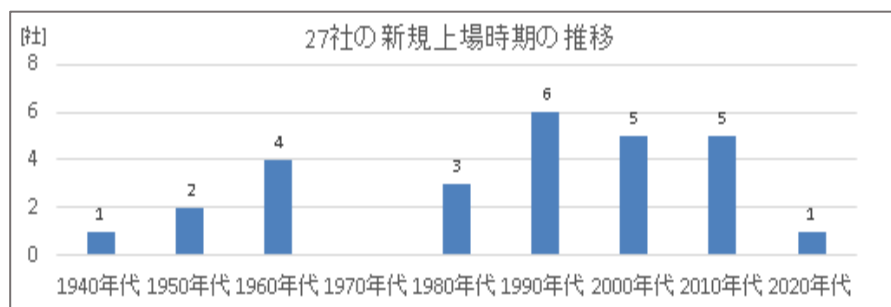
第五に、富山県の主要産業であるアルミやくすりについては、引き続き、産学官連携を中心に産業競争力の強化を行います。また、くすりについては、品質や信頼性の確保に取り組むとともに、医薬品の開発支援や創薬ベンチャー等との連携を促進します。

第六に、富山県の成長には、最新技術の実証実験の誘致・実施が必要であり、デジタル分野を中心に、県内外の企業からの提案を集め、実証実験を行います。

第七に、新産業創出には人材育成、公教育の強化が必要であり、小中高から大学、リカレント教育など様々な分野において、課題解決型の授業や社会人教育等、未来を見据えて教育内容を強化します。特にデジタル分野においては、富山県がデジタル人材の輩出県となるように、先端的な取組みを進めます。

（5）スタートアップ支援戦略

スタートアップ支援戦略は、真の幸せ（ウェルビーイング）戦略、まちづくり戦略、ブランディング戦略により進められた人材交流・人材集積を基礎として、本県経済の将来



富山県内の上場企業数 27社

の成長の種となる新たな企業を創出していく戦略です。富山県は県内の開業率も低く、2010年代以降の上場企業数も1桁です。また、大学発ベンチャーについては全国最下位となっています。こうした課題を強みに変えるべく、スタートアップ支援を抜本的に強化するとともに、その支援も戦略的に行い、ロールモデルの創出を目指します。

まず、スタートアップ創出に向けたネットワークの構築や気運の醸成に向けて、令和4年度開業予定の創業支援センター・創業移住促進住宅を中心に、スタートアップ支援のネ

ネットワーク構築の事業を行います。そのうえで、シーズ案件の発掘を行うため、案件の調査や東京においてスタートアッププログラムを行い、有望案件への集中的な支援を行います。その一方で、県内のウェルビーイングの向上に資するスモールビジネスの成長支援を行うことで、創業の裾野の拡大を図ります。

（６）県庁オープン化戦略

県庁オープン化戦略は、他の戦略において、官民連携を効果的に行うことや事業の設計において、民間のニーズに合った事業を創出するための基盤をつくる戦略です。

まずは、県庁組織の活性化として、人材育成を強化するとともに、県庁の文化風土の改革を図り、越境人材の創出を目指します。また、デジタル技術の活用も含め、県庁内の働き方改革を進め、県庁内でのウェルビーイングの向上を目指し、越境人材として県庁外とのネットワーク構築や現場での活動の時間を創出し、モチベーションの向上も目指します。

合わせてデジタル技術を活用した住民サービスの向上や住民参加の推進を図るべく、様々な分野でのデジタル化により、UI やUX の改善を図るとともに、県庁内のDX人材の育成を行います。

2. 今後の進め方

成長戦略については、変化する社会情勢の中で、スピード感をもって効果的に各施策を進めていくことが重要であることから、令和4年度当初予算に計上した事業（アクションプラン）を着実に実施します。このため、来年度以降も成長戦略会議やワーキンググループにおいて、PDCAサイクルにより、施策の実施状況と効果等を検証し、成長戦略が実効性のあるものとなるよう取り組んでいきます。

3. アクションプラン

(1) 真の幸せ（ウェルビーイング）戦略

(単位:千円)

施策	事業等	R4予算額
①県民のウェルビーイングの向上、多様性の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェルビーイング調査・普及啓発事業 ウェルビーイングの向上に向けて、これを測る指標を設定するとともに、県民のウェルビーイングを推進するための取組みを促進 	23,000
②女性のウェルビーイングの向上、働き方改革・ワークインライフの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェルビーイング向上を目指す男女共同参画推進事業費 富山県民男女共同参画計画(第4次)の改定に向け、県民の生の声を計画に取り入れるため、様々な機会を設けるもの ・中小企業の働き方改革モデル取組事例創出事業 働き方改革実践モデル企業を選定し、伴走支援型コンサルにより改革の実践、課題解決のモデルを創出するとともに、その成果を横展開 ・企業と従業員のウェルビーイング創出事業 企業における働き方改革や女性活躍の取組みを促進するため、テーマや開催時期など企業や団体の希望に応じて専門の講師を派遣 ・企業成長×女性活躍プロジェクト事業 女性活躍を推進するため、フォーラムを開催するとともに企業への専門家派遣や好事例の「見える化」による横展開等を実施し、企業の取組みを促進 ・女性活躍「ファーストベンギン企業」パイロット事業 県内企業における女性活躍・働き方改革を促進するため、「ファーストベンギン」となる企業のチャレンジを支援 ・がんばる女性農業者支援事業 農村女性の起業活動の発展段階に応じた支援に加え、女性起業組織が多世代で協働して活躍できる取組みを支援 ・とやま建設女子's魅力ある職場づくり支援事業 建設業への女性の入職・定着の促進を図る取組み(施設改修、備品購入等)に要する経費の1/2を補助 ・とやま子育てイメージアップ事業 子育て支援制度の利用により、子育ての負担感を軽減し、子育て家庭及び支援者双方のウェルビーイングにつなげる機運を醸成 ・子育て支援事業「とやまっすくすく電気」 水力発電事業の効率的な運営により得られる収益の一部を活用して、多子世帯の電気料金負担を軽減(子ども3人世帯月額700円、4人以上世帯月額1,800円) 	2,500 14,000 5,000 8,500 7,000 9,486 3,000 5,500 63,943
③人材交流・人材集積の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県成長戦略カンファレンス開催事業 富山県成長戦略を県内外に発信し、成長戦略の議論を深め、連携して取組みを進める契機としてカンファレンスを開催 ・関係人口1,000万人協働促進事業 県内のNPO・ボランティア団体等が、他の地域と協働して地域課題解決や地域活性化に取り組む活動等に対し支援 ・第4回とやま世界子ども舞台芸術祭(PAT2022)開催支援事業 「第4回とやま世界子ども舞台芸術祭」の開催を支援 ・とやまワーケーション推進事業 県内各地のモデルプランや体験ツアーの充実を図るとともに、戦略的なPRや県外企業等への支援によりワーケーション誘致を推進 ・とやままでお試しテレワーク移住促進事業 県外在住のテレワーカーのお試し移住を支援する ・富山“Re-Design”ラボ事業 富山大学の「富山“Re-Design”ラボ」に参画するとともに、企業への支援等により、県内企業活性化・人材確保や移住促進を図るもの ・地域おこし協力隊定着率向上対策事業 隊員の受入人数増加や県内定着率の向上を図るため、隊員の募集段階から任期終了後のサポートを一体的に実施 	24,000 5,100 61,199 11,000 4,500 4,000 18,500

(2) まちづくり戦略

(単位:千円)

施策	事業等	R4予算額
①居心地がよく個性的な市街地・田園地域づくり	・令和新時代まちづくり推進事業 市町村が多様な主体と連携し実施する地域の特色・強みを活かしたまちづくりを支援(特認メニューとして「富山県成長戦略に沿った事業」を追加)	50,000
	・関係人口1,000万人協働促進事業(再掲) 県内のNPO・ボランティア団体等が、他の地域と協働して地域課題解決や地域活性化に取り組む活動等に対し支援	5,100
	・富山県MaaS環境構築事業 公共交通による移動需要の喚起を図るため、県内のMaaS(Mobility as a Service)の環境構築を実施	42,000
	・新モビリティサービス等推進事業 人口減少や少子高齢化、働き方の変化などの環境変化に対応するため、地域における新たなモビリティサービス等の導入を支援	14,000
	・中山間地域等買い物サービス総合推進事業 中山間地域等の買い物弱者の生活利便性を向上させるため、買い物支援サービスの未参入地域における実証運行等を支援	7,000
	・「eスポーツ×高齢者」普及促進事業 高齢者の介護予防や社会参加の促進、高齢者と子どもとの多世代交流によるウェルビーイングの向上を図るため、eスポーツを普及促進	5,000
	・デジタルソリューション推進事業 企業等が保有する革新的なデジタル技術(5G、AI、IoT等)を活用した地域課題解決の事例を創出し、県内での新しいビジネスモデルを構築	75,000
	・富山サテライトオフィス誘致プロジェクト事業 市町村、民間事業者と連携し、県外からのサテライトオフィスの誘致を図るプロジェクトを推進	21,170
	・とやまワーケーション推進事業(再掲) 県内各地のモデルプランや体験ツアーの充実を図るとともに、戦略的なPRや県外企業等への支援によりワーケーション誘致を推進	11,000
	・とやまでお試しテレワーク移住促進事業(再掲) 県外在住のテレワーカーのお試し移住を支援する	4,500
	・空き家活用モデル支援事業 ワーケーションオフィスや移住者向け住宅など、多様化する空き家活用ニーズに対応するため、今後の空き家活用のモデルとなる取組みを支援	3,200
	・デジタルを活用した魅力ある都市・田園研究調査事業 富山県成長戦略のうち、まちづくり戦略において掲げる「居心地がよく個性的な市街地・田園地域づくり」のため、先進的取組みの調査・研究等を実施	6,000
	・美しい農村景観整備事業 所有者等が荒廃農地を復元し景観作物を作付けするなど、営農又は保全管理を行う取組みに支援	1,000
	・多面的機能支払支援事業 農業・農村の有する国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全等の多面的機能の維持・発揮を図るための地域ぐるみの活動を支援	1,900,000
・中山間地域等直接支払交付金 高齢化や人口減少等が著しい中山間地域等において、農業生産活動が継続的に行われるよう、集落の活動体制の維持・強化を推進	751,000	
②官民連携によるまちづくりや社会課題解決の推進	・官民連携・規制緩和推進体制強化事業 民間事業者からのワンストップ相談窓口として、県庁内に「官民連携・規制緩和推進デスク」を設置し、官民連携の推進体制を強化	1,600
	・官民連携人材育成事業 将来的な官民連携のモデル事業の創出に向け、PPP/PFIなどの多様なスキルを学ぶ実践的な研修に職員を派遣	18,810
	・新川こども施設民間活力導入可能性調査事業 「新川こども施設」の整備・運営に向けた民間活力(PPP/PFI)導入可能性調査を実施	10,000
	・富山空港民間活力導入可能性調査事業 富山空港における民間活力導入可能性調査を実施	16,800
	・輸出プラットフォーム運営検討事業 PFSを活用した地域商社の育成と、地域商社を中心とした輸出プラットフォームの形成	9,000
	・太閤山ランドにぎわい創出実証事業 太閤山ランドをフィールドに民間事業者による実証実験やイベント試行を実施	1,000

・官民連携による公園再生・活性化事業 県立都市公園の魅力向上のため、公募設置管理制度(Park-PFI)を活用した、民間事業者による公園の整備方針の策定及び事業化検討を実施	10,000
---	--------

(3) ブランディング戦略

(単位:千円)

施策	事業等	R4予算額
①国内外への「富山＝ウェルビーイング」のイメージづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなGo Toトラベル富山県事業 県民等を対象にした富山の魅力の再発見やコロナ禍における観光需要の創出のため、都道府県によるGoToトラベル事業等を実施するもの 	300,000 (2月補正) 6,018,000 (当初)
	<ul style="list-style-type: none"> ・立山黒部魅力再発見・誘客支援事業 立山黒部の魅力再発見やマイクロツーリズムの促進に向け、県民向けや小学生向けの誘客キャンペーン等を支援 	150,000
	<ul style="list-style-type: none"> ・県民ふるさとの日記念事業 県民が、ふるさとの歴史・自然・風土・文化・産業等についての魅力を知り、理解を深め、ふるさとへの愛着を育むことを目的に記念式典を開催 	4,550
	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層向け富山の魅力発見事業 身近すぎて気づかない日常の幸せを発見し、それをテーマとして制作した動画を若者をターゲットとしてSNS等により発信拡散 	7,200
	<ul style="list-style-type: none"> ・女性による「暮らすような旅」観光サービス事業化プロジェクト 暮らすように旅する新たなスタイルの観光振興のため、女性の力を活かし、担い手の育成や、観光サービスを造成するとともに、欧州向けセールス、観光PR等を試験的に実施 	22,800
	<ul style="list-style-type: none"> ・とやま観光塾事業 富山県地域通訳案内士の資格が習得できるインバウンド専攻のほか、観光事業者等の人材育成プログラムを実施 	24,000
	<ul style="list-style-type: none"> ・欧米豪デジタルマーケティング推進事業 今後の欧米豪からの誘客を推進していくため、デジタルマーケティングの手法により、ターゲットとすべき市場等を調査・分析 	32,000
	<ul style="list-style-type: none"> ・データサイエンスを活用したビジネス観光誘客促進事業 県内観光担当者のデータ活用のスキルアップを行うとともに、ビジネス客向けの特別宿泊観光プラン、体験コンテンツの造成・販売につなげ、誘客を促進 	9,900
	<ul style="list-style-type: none"> ・自然公園の整備【一部補正】 国立公園利用者の安全性・快適性に寄与した施設整備を実施 	125,800
	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな時代に対応した観光地域づくり支援事業 ポストコロナを見据え、観光事業者等が取り組む旅行商品・サービスの造成やデジタル技術の活用などの新たな観光ビジネスに対し支援 	30,000
	②富山県の「関係人口1000万人」実現に向けた取組みの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・マイクロツーリズム推進事業 近隣県民の誘客促進のため、近隣県向け情報発信などの誘客施策を実施するとともに、その結果の検証を行う等、マーケティングに基づきマイクロツーリズムを推進
<ul style="list-style-type: none"> ・戦略的広報広聴調査・実証事業 属性に応じた的確な情報発信や広聴の実現に向け、ポータルサイト「デジタル窓口」の設置により、UI・UXの向上や広報広聴機能の強化を実施 		50,000
<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルマーケティング推進事業 デジタルマーケティングを活用した戦略的な情報発信を推進するため、職員研修や専門家による助言等を実施 		5,000
<ul style="list-style-type: none"> ・戦略的なデジタル観光情報発信事業 「とやま観光ナビ」を中心とした観光情報発信や、SNS等を活用した流入対策を行う等、制作・発信・検証のPDCAを回し、デジタル観光情報発信力を強化 		9,000
<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンドSNS等情報発信強化事業 アフターコロナにおける訪日外国人の考えや嗜好等の変化に対応するため、デジタルデータ等を活かしたSNSによる情報発信体制の強化 		4,600
<ul style="list-style-type: none"> ・欧米豪デジタルマーケティング推進事業【再掲】 今後の欧米豪からの誘客を推進していくため、デジタルマーケティングの手法により、ターゲットとすべき市場等を調査・分析 		32,000
<ul style="list-style-type: none"> ・とやま伝統工芸プロモーション戦略事業 伝統工芸品の魅力PRと販路開拓のため、プロモーション動画作成や中国北京での展示会と連携した取組み、越境ECサイトでの広告を実施 		10,500
<ul style="list-style-type: none"> ・温故知新観光物産展事業 富山県出身者が設立した企業等において、富山とのゆかりに主眼を置いた観光物産展を開催 		3,600
<ul style="list-style-type: none"> ・県内事業者支援in日本橋とやま館事業 新型コロナの影響を受ける県内事業者を支援するため、日本橋とやま館で富山の魅力を体感できる企画等を実施し、県産品や県内観光の発信力を強化 		12,000
<ul style="list-style-type: none"> ・とやまワーケーション推進事業(再掲) 県内各地のモデルプランや体験ツアーの充実を図るとともに、戦略的なPRや県外企業等への支援によりワーケーション誘致を推進 		11,000
<ul style="list-style-type: none"> ・とやまでお試しテレワーク移住促進事業(再掲) 県外在住のテレワーカーのお試し移住を支援 		4,500
<ul style="list-style-type: none"> ・富山湾岸サイクリングコース首都圏等情報発信強化事業 	12,500	

<p>県内外からの誘客を図るため、サイクリング専門誌やSNS等による情報発信、首都圏等のサイクリストを対象にモニターツアー等を実施</p> <p>・富山湾の魅力発信事業 釣りを通じた観光誘客を促進するため、WEBサイト「とやま釣りナビ」を開設するほか関連イベントに出展</p>	3,800
<p>・ふるさと納税の拡充 関係人口創出に向け、プロジェクト型ふるさと納税を実施するとともに、返礼品をさらに充実</p>	69,650
<p>・とやま農泊ネットワーク推進事業 新たに農泊ネットワーク組織を構築・運営し、県内における農泊の取組み強化と広域的な振興を図る</p>	10,010

(4) 新産業戦略

(単位:千円)

施策	事業等	R4予算額
①自立した経済圏の確立	・企業立地助成事業 県内で工場を新增設した企業に対する企業立地助成金の交付要件の緩和と、IT・オフィス系企業の県内進出に対する助成制度の創設	—
	・富山県カーボンニュートラル戦略策定事業 世界的な潮流を踏まえ、本県におけるカーボンニュートラルの実現に向けた取組みを推進する計画を策定	32,000
	・燃料電池車両普及促進事業 脱炭素社会構築に向け、水素の利活用を推進するため、燃料電池自動車の導入支援や燃料電池フォークリフトの導入実証を実施	10,500
	・とやま成長産業創造プロジェクト推進事業 成長が期待される分野での事業化を進めるため、研究会活動に加え、新たにグリーン成長戦略分野に関連する新製品、新技術の研究開発を支援	59,320
	・団体営地域用水環境整備交付金事業 農業用水を活用した小水力発電施設整備	6,660
	・県営水力発電所リプレイス事業 4発電所(庄東第一、大長谷第二、仁歩、若上)について固定価格買取制度を活用したリプレイス(全面的更新)を実施	2,786,740
	・アルミ産業成長力強化戦略推進事業 アルミの特性を活かした研究開発プロジェクトの自立化・事業化やアルミのリサイクル(グリーン化)に向けた研究開発を支援	72,990
②広域交通インフラの整備、経済交流	・富山空港国内線の利用促進 国内線(羽田・札幌便)を利用した旅行商品造成への支援、近隣県でのPR等を実施	84,100
	・高規格道路等の整備促進の働きかけ 高規格道路等の整備により、近隣県との連携強化を図るため、東海北陸自動車道の全線4車線化や、能越自動車道、富山高山連絡道路等の整備促進を国等へ働きかける	—
	・公共・主要県単事業 高規格道路等の整備により、物流拠点へのアクセス向上を図るため、高岡環状道路等の整備を推進する	680,000の一部 (2月補正) 53,731,000の一部 (当初)
	・伏木富山港(新湊地区)ガントリークレーン更新 新湊地区国際物流ターミナルのガントリークレーン1基の更新	790,000
	・伏木富山港(伏木地区)野積場の整備 伏木地区万葉4号野積場の整備	185,000
	・伏木富山港(富山地区)ハイポストクレーンの整備 富山地区ハイポスト仕様のクローラクレーン1基の購入	190,300
	・カーボンニュートラルポート形成計画策定事業 次世代エネルギーの受入環境整備・脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化等、伏木富山港におけるカーボンニュートラルポート形成計画を策定	22,000
	・ポートセールス推進事業 インセンティブ制度による集荷、セミナー開催等のPR活動、シベリア鉄道を活用したロシア・欧州物流活性化の取組み、ロシアへの物流訪問団派遣等を行い、伏木富山港の利用を促進	67,136
③県内企業のDX・高付加価値化支援	・とやま型スマート農業推進事業 スマート農業の実証、現場への普及に取り組むとともに、技術を駆使できる人材を育成(一部2月補正)	1,559 (2月補正) 18,227 (当初)
	・富山県林業イノベーション推進総合対策事業 県内へのスマート林業の普及・推進を図るため、ICT等新たな技術の活用により安全性の向上や効率化の実証実験を実施	32,700
	・富山県林業カレッジ運営推進事業 富山県林業カレッジ研修のカリキュラムを見直し、スマート林業技術を活用する人材育成を強化	21,609
	・水産ICT活用推進事業 スマート水産業を推進するため、漁業団体によるICT観測機器の導入を支援	1,500
	・建設業ICT機器導入支援事業費補助金 ICT機器の導入や対応できる人材の育成に要する経費の1/2を補助	2,500
	・建設業WEB会議システム導入支援事業費補助金 WEB会議のためのシステム環境整備や機器の導入に要する経費の1/2を補助	1,500

	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県中小企業等DXファーストステップ促進事業 県内中小企業のDX推進のため、県新世紀産業機構に整備されているデジタルハブ(仮称)を活用し、セミナー等を開催 ・ローカル5G活用生産性向上推進事業 県内企業に対してローカル5Gの導入を積極的に推進するため、本格導入に向けた計画策定や技術実証、基地局整備等を支援 ・中小企業デジタル変革推進事業 県内企業のデジタル技術を活用した企業変革を推進するため、成功事例の動画作成や、企業課題に応じた講座開催、企業への指導者派遣等を実施 ・中小企業ビヨンドコロナ補助金 新型コロナで大きな打撃を受けた事業者を対象に、DXや販路開拓、環境改善といった取り組みを支援 ・富山県融資制度「DX推進資金」 新たな製品・サービスや付加価値の創出に取り組むため、デジタル技術を活用した設備を導入し、1%以上の生産性または業務効率の向上を図る中小企業者の設備導入を、実質3年間無利子で支援 ・デジタルデバイド対策事業 誰一人取り残さないデジタル社会を構築するため、スマートフォンの操作に不慣れな高齢者等を地域で継続して支援するボランティアの養成等を実施 ・ビッグデータ活用プラットフォーム構築事業 データ利活用による県民の利便性向上や地域課題解決、ニュービジネス創出を図るため、データ連携基盤構築に向けた実証実験等を実施 ・データサイエンス連携推進事業 富山大学が行う社会人向けデータサイエンス講座等を支援し、DX人材の育成を推進 ・DX・働き方改革推進事業 DX・働き方改革を推進するため、「DX・働き方改革推進本部会議」による進捗管理を進めるとともに、専門人材の起用による体制を強化 ・県立大学ビジネスパーソン・スキルアップ支援事業 従来の大学が提供する講座型(レディメイド型)セミナーに加え、新たに個々の企業等のニーズ等に応じたカスタムメイド型のセミナーを実施 ・経営者向けセミナー開催事業 リカレント教育の必要性や普及に必要な社内制度等について啓発を図るため経営者向けにセミナーを実施 ・DX教育研究セミナー事業 県立大学のDX教育研究センター(仮称)において、DXを担う人材育成に資するセミナー等を開催 ・オープンイノベーション推進事業 県立大学のDX教育研究センター(仮称)にコワーキングスペースを設置し、オープンイノベーションに繋げるワークショップ等を開催 	<p>1,100</p> <p>26,600</p> <p>50,000</p> <p>1,000,000 (2月補正) 1,000,000 (当初)</p> <p>—</p> <p>3,000</p> <p>11,000</p> <p>20,000</p> <p>2,000</p> <p>4,800</p> <p>848</p> <p>4,450</p> <p>6,000</p>
④カーボンニュートラルを踏まえた産学官連携の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・とやま成長産業創造プロジェクト推進事業(再掲) 成長が期待される分野での事業化を進めるため、研究会活動に加え、新たにグリーン成長戦略分野に関連する新製品、新技術の研究開発を支援 ・産学官連携オープンイノベーション推進事業 産学官が連携した共同研究による新製品・新技術の開発促進 ・富山県カーボンニュートラル戦略策定事業(再掲) 世界的な潮流を踏まえ、本県におけるカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを推進する計画を策定 ・カーボンニュートラル普及促進事業 カーボンニュートラル推進の取り組みを普及啓発 ・エコアクション21推進事業 事業者が省エネや二酸化炭素排出削減に取り組む「エコアクション21」(環境省策定の中小企業向け環境経営システム)の普及啓発 ・県民総参加のSDGs取り組み促進事業 県民のSDGsへの理解をさらに深め、SDGs宣言を行う企業・団体等の掘り起こし、宣言企業間の連携を促進 	<p>59,320</p> <p>31,560</p> <p>32,000</p> <p>6,000</p> <p>181</p> <p>7,700</p>
⑤アルミ・くすり、リサイクル等の産業競争力強化	<ul style="list-style-type: none"> ・アルミ産業成長力強化戦略推進事業(再掲) アルミの特性を活かした研究開発プロジェクトの自立化・事業化やアルミのリサイクル(グリーン化)に向けた研究開発を支援 ・地方大学・地域産業創生くすりコンソーシアム推進事業 県内の産学官によるコンソーシアムを構築し、医薬品産業の振興や専門人材の育成を図るもの 	<p>72,990</p> <p>997,000</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスケア産業育成創出事業 ヘルスケア産業育成のため付加価値の高い新製品の開発を支援 ・富山のくすり品質・信頼性等確保事業 県・業界による、GMP違反等の再発防止と信頼性確保の取組みを実施 ・医薬品開発支援・創薬ベンチャー連携事業 県内企業が実施する医薬品開発研究に対して支援するとともに、創薬ベンチャー等との連携を推進し、製剤開発や受託製造を促進 ・プラスチック地域循環促進事業 県内で廃棄された廃プラスチックや県内由来のバイオマスの利活用など、プラスチックの地域内循環の取組みを支援 	<p>55,363</p> <p>1,500</p> <p>32,000</p> <p>3,000</p>
⑥実証実験の誘致・実施	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルソリューション推進事業(再掲) 企業等が保有する革新的なデジタル技術(5G、AI、IoT等)を活用した地域課題解決の事例を創出し、県内での新しいビジネスモデルを構築 ・稼げる！とやまの園芸産地支援事業 園芸生産の拡大に向けた試験栽培や農業支援サービス等を利用した新しい労働力確保体制の確立などの取組みに対して支援 ・DX推進目安箱の設置 県のDX施策の検討や実施に活かすため、DX施策に対する県民や県内外の事業者からの意見、提案を受け付ける「DX推進目安箱」を設置 ・中山間地域ドローン物流実証事業 中山間地域におけるドローンを活用した物流の可能性の検討と検証を実施 	<p>75,000</p> <p>100,000の一部</p> <p>—</p> <p>10,000</p>
⑦人材育成、公教育の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・とやま新時代創造プロジェクト学習推進事業 課題発見・解決能力の育成に向けたプロジェクト学習や今後の知識集約型社会で必要とされる教科等横断的なSTEAM教育を推進 ・令和のとやま型教育推進事業 小中学校における今日的な課題をテーマとして選定し、各市町村において研究実践に取り組み、県全体の教育の質を向上 ・とやまの高校生マイスター育成事業 地域の産業界を牽引する職業人材の育成・定着促進を図るため、ものづくりや農業クラブ活動、専門資格取得に向けた生徒への支援を実施 ・高校生職業教育プログラム推進事業 高校において大学卒業後までを見据えたキャリア教育の充実を図るため、職業観や挑戦意欲の醸成を図る取組みを実施 ・社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業 中学2年生が学校外で参加する職場体験活動等の支援 ・社会へ羽ばたく「17歳の挑戦」事業 普通系学科の高校生を対象とした企業見学や実技体験、就労体験及びアカデミック・インターンシップの実施 ・とやまの小・中学生ライフプラン教育充実事業 ライフプラン教育用冊子の作成及び配付、乳幼児ふれあい体験及びライフデザインセミナーの実施 ・とやまの高校生ライフプラン教育充実事業 富山で働き育てする良さと自らの生き方に関する副教材の作成・活用、赤ちゃんふれあい体験や産婦人科医等のライフデザインセミナーの実施 ・幼児教育の質の向上推進事業 幼児教育の質の向上を図るため、訪問研修による各施設の研修充実、幼児期から小学校への円滑な接続、各地域における人材育成などを実施 ・とやま親学び推進事業 幼稚園・保育所、小中学校における「親学び講座」の開催、企業内啓発講座の開催 ・未来のDX人材育成事業 独創的な思考と高度な技術をもつ「突き抜けたDX人材」を育成するため、小中高生のプログラミング技能向上に向けた体験プログラム等を実施 ・ICT教育推進事業 教員のICTスキルの可視化が可能なステップアップ表を用いたレベル別研修の開催や効果的で質の高い授業を展開するためのデジタル教材の提供 ・GIGAスクール構想推進事業 1人1台端末等のICT機器を活用した、効果的な授業実践のための研修等の実施による教員の資質向上の推進 ・GIGAスクール運営支援センター整備事業 県立学校におけるICT教育の推進のため、支援センターの設置や情報通信技術支援員との連携により支援を円滑化 	<p>15,500</p> <p>9,150</p> <p>3,500</p> <p>2,000</p> <p>15,046</p> <p>5,400</p> <p>1,046</p> <p>2,000</p> <p>5,800</p> <p>3,365</p> <p>9,000</p> <p>77,297</p> <p>3,750</p> <p>33,349 (2月補正)</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・データサイエンス連携推進事業(再掲) 富山大学が行う社会人向けデータサイエンス講座等を支援し、DX人材の育成を推進 	20,000
<ul style="list-style-type: none"> ・県立大学ビジネス・パーソンスキルアップ支援事業(再掲) 従来の大学が提供する講座型(レディメイド型)セミナーに加え、新たに個々の企業等のニーズ等に応じたカスタムメイド型のセミナーを実施 	4,800
<ul style="list-style-type: none"> ・経営者向けセミナー開催事業(再掲) リカレント教育の必要性や普及に必要な社内制度等について啓発を図るため経営者向けにセミナーを実施 	848
<ul style="list-style-type: none"> ・DX教育研究セミナー事業(再掲) 県立大学のDX教育研究センター(仮称)において、DXを担う人材育成に資するセミナー等を開催 	4,450
<ul style="list-style-type: none"> ・オープンイノベーション推進事業(再掲) 県立大学のDX教育研究センター(仮称)にコワーキングスペースを設置し、オープンイノベーションに繋げるワークショップ等を開催 	6,000

(5) スタートアップ支援戦略

(単位:千円)

施策	事業等	R4予算額
①ネットワークの構築、 機運の醸成	・とやまスタートアップ「T-Startup」創出事業(スタートアップ創出に向けたネットワークの構築) 富山で今後活躍が期待される起業家と、県内外の支援者のネットワークを構築	58,200の一部
	・ポर्टランド起業・ビジネス研修実施事業 県内大学生等の起業家マインドを醸成するため、「起業の街」である米国オレゴン州ポर्टランド等において研修を実施	9,800
	・創業支援センター・創業移住促進住宅管理運営事業 職住一体の施設を開設し、起業家や学生ベンチャー、移住者を呼び込み、ヒト・モノ・コトが交流する拠点として運営	75,685
	・創業プログラム等実施支援事業 市町村・商工団体等が実施する創業スクール等の開催経費を支援	4,000
②シーズ案件の発掘・ 起業家支援	・とやまスタートアップ「T-Startup」創出事業(シード案件の調査) スタートアップ、跡継ぎベンチャー、大学発ベンチャーのシーズ調査	58,200の一部
	・とやまスタートアップ「T-Startup」創出事業(東京⇄富山スタートアッププログラム) 富山での創業希望者を対象とした起業家育成プログラムを東京、富山で実施	58,200の一部
	・とやまスタートアップ「T-Startup」創出事業(各種専門家によるハンズオン支援) スタートアップのニーズに応じた専門家派遣や人材マッチング等の実施	58,200の一部
	・とやまスタートアップ「T-Startup」創出事業(官民ファンドの実現可能性調査) 先進事例の調査やVCへのヒアリング等による官民ファンドの実現可能性の検討	58,200の一部
	・首都圏での新産業スタートアップマッチング事業 社会課題解決・価値創造の共創施設である「渋谷キューズ」を活用して、新産業創出の実証実験の誘致やスタートアップ起業のマッチング等を実施	8,800
	・事業承継つなぐサポート事業 小規模事業者等の取組みを支援するとともに、事業承継知識の向上を図るセミナー等や事例紹介リーフレットの作成により支援機関との連携を強化	5,000
	・クラウドファンディング活用起業支援事業 ふるさと納税の対象となるクラウドファンディングを実施し、新規性に富むビジネスの資金調達を支援	18,900
・富山県融資制度「創業・事業承継支援資金(創業者枠)」 創業者向けの融資制度の対象を創業後2年から5年に拡大するほか、日本政策金融公庫との協調融資により、円滑な資金調達や事業拡大を支援	—	
③集中的な起業家支援	・とやまスタートアップ「T-Startup」創出事業(各種専門家によるハンズオン支援)(再掲) スタートアップのニーズに応じた専門家派遣や人材マッチング等の実施	58,200の一部
④スモールビジネスの 成長支援	・クラウドファンディング活用起業支援事業(再掲) ふるさと納税の対象となるクラウドファンディングを実施し、新規性に富むビジネスの資金調達を支援	18,900
	・とやまUターン起業支援事業 本県に移住し、県内での起業を目指す起業家に対して創業経費等を助成	48,500
	・スモールビジネス創業支援事業 ウェルビーイングに資するスモールビジネス分野での起業に必要な経費を助成	11,000
	・創業支援センター・創業移住促進住宅管理運営事業(再掲) 職住一体の施設を開設し、起業家や学生ベンチャー、移住者を呼び込み、ヒト・モノ・コトが交流する拠点として運営	75,685
	・創業プログラム等実施支援事業(再掲) 市町村・商工団体等が実施する創業スクール等の開催経費を支援	4,000

(6) 県庁オープン化戦略

(単位:千円)

施策	事業等	R4予算額
①県庁組織の活性化	・地方創生人材育成研修事業 (一財)地域活性化センターと連携し、県と市町村の職員が一体となって地域課題の解決に取り組む研修を実施	2,900
	・県庁組織活性化・人材育成事業 庁内「複業」制度の導入	9,000の内数
	・DX施策立案高度化事業 シンガポール国立大学と連携のもと、DX施策形成システムを習得することによりDX施策立案の高度化を図るもの	7,063
	・オープンインベーションカフェ事業 風通しのよい柔軟な発想が生まれる職場環境づくりのため、既存の組織を超えて職員同士が気軽に情報交換・意見交換できる場を創出する。	—
②県庁の働き方改革の推進	・働き方改革ラボ1.5事業 県庁が率先してテクノロジーを活用した働き方改革を実施するとともに、官民協働の働き方改革コミュニティを設置し、成果を横展開	9,800
	・マイナンバーカード取得支援事業 マイナンバーカード取得促進イベントを開催し、交付事務を行う市町村を支援するとともに、県独自の大使を任命するなど、各種PRを実施	21,000
	・行政手続オンライン化推進事業 証紙等で納付していた手数料の電子納付化等を通じて、電子申請可能な手続数を拡大	5,200
	・電子契約導入事業 電子契約サービスを導入し、契約手続の押印廃止やペーパーレス化を推進	1,089
	・県税の電子化推進事業 納税環境の整備及び金融機関等の収納事務効率化のため、自動車税種別割に共通納税システム及び地方税統一QRコードを導入。	109,109
	・税務システム収納事務へのRPA導入事業 収納データ取得業務についてRPAを用いて自動化、業務の効率化を図り、より高度で付加価値の高い業務に人員を集中。	3,510
	・デジタルの活用による支出書類自動作成化の検証 AI-OCRとRPAを活用して会計事務の効率化を図るため、簡易・定例的な支払書類の自動作成化を検証	4,700
・リフレッシュワーケーション(健康経営)事業 県職員の心身をリフレッシュし、生産性向上や健康増進を図るため、「ワーケーション」の手法を活用した働き方体験を実施	1,000	
③デジタル技術を活用した住民サービスの向上・住民参加の推進	・県のオープンデータポータルサイトリニューアル オープンデータの利用を推進するため、検索性向上等のポータルサイトのリニューアルを実施	1,500
	・公文書館デジタルアーカイブ構築事業 オンラインによる重要な歴史資料等の閲覧・利用サービスを実施	11,500
	・富山県美術館DX推進事業 デジタル技術を通じ、いつでもどこでもアートとデザインを楽しむことができる富山県美術館のDX化を推進	13,500
	・ビッグデータ活用プラットフォーム構築事業(再掲) データ利活用による県民の利便性向上や地域課題解決、ニュービジネス創出を図るため、データ連携基盤構築に向けた実証実験等を実施	11,000
	・DX人材育成プログラム事業 DX施策を推進するため、職員の役割等に応じたセミナーや育成プログラム、講座を実施	13,768
	・DX施策立案高度化事業(再掲) シンガポール国立大学と連携のもと、DX施策形成システムを習得することによりDX施策立案の高度化を図るもの	7,063
	・人流データ活用推進事業 人流データを共通利用できる環境を整備し、観光・防災・交通など、様々な分野においてデータを活用した施策立案・実施を推進	8,200
	・マイナンバーカード取得支援事業(再掲) マイナンバーカード取得促進イベントを開催し、交付事務を行う市町村を支援するとともに、県独自の大使を任命するなど、各種PRを実施	21,000
	・行政手続オンライン化推進事業(再掲) 証紙等で納付していた手数料の電子納付化等を通じて、電子申請可能な手続数を拡大	5,200

<ul style="list-style-type: none"> ・電子契約導入事業(再掲) 電子契約サービスを導入し、契約手続の押印廃止やペーパーレス化を推進 	1,089
<ul style="list-style-type: none"> ・行政手続きの電子納付化事業 「申請から納付まで一貫してデジタルで完結する」行政手続きのオンライン化を推進するため、使用料・手数料の電子納付を順次開始 	21,900
<ul style="list-style-type: none"> ・県HPアクセシビリティ改善事業費 県HPの不要情報の非公開や情報分類の整理を行い、県HPの使い勝手を向上させ、県民へのより迅速・正確な情報伝達の促進するもの。 	5,500
<ul style="list-style-type: none"> ・戦略的広報広聴調査・実証事業(再掲) 属性に応じた的確な情報発信や広聴の実現に向け、ポータルサイト「デジタル窓口」の設置により、UI・UXの向上や広報広聴機能の強化を実施 	50,000
<ul style="list-style-type: none"> ・県HPへのAIチャットボットの本格導入 令和3年度中に自動車税等に関する業務に試行導入するAIチャットボットを県のHPに本格導入し、約半数の業務に対応 	—
<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルマーケティング推進事業(再掲) デジタルマーケティングを活用した戦略的な情報発信を推進するため、職員研修や専門家による助言等を実施 	5,000
<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット広告活用情報発信事業 インターネット広告を活用し、県ホームページへの誘導を図ることにより、ターゲットを絞り込んだ広報を実施 	5,500
<ul style="list-style-type: none"> ・広報効果調査・向上事業 来年度以降の広報計画の判断指標とするため、県の広報に関する調査を行い、また、県が行う広報をより効果的なものとするため、職員向けの講座を実施する。 	2,000